

当院における切除不能進行・再発大腸癌に対する後方治療の検討

1. 研究対象

当院で2011年1月から2023年12月の期間に、大腸癌に対するがん薬物療法としてレゴラフェニブ（スチバーガ）あるいはトリフルリジン・チピラシル塩酸塩（ロンサーフ）を用いた治療を開始した患者様

2. 研究目的・方法

切除不能進行大腸癌に対する新規抗がん剤として2024年11月にフルキンチニブ（フリュザクラ）が発売されました。フルキンチニブは三次治療以降の使用での適応になります。同様に三次治療以降ではレゴラフェニブ（スチバーガ）およびトリフルリジン・チピラシル塩酸塩（ロンサーフ）が適応になっており、現在フルキンチニブ、レゴラフェニブおよびトリフルリジン・チピラシル塩酸塩の三つの薬剤が使用できる環境にあります。本研究では、当院で2011年1月から2023年12月の期間に大腸癌に対してレゴラフェニブあるいはトリフルリジン・チピラシル塩酸塩を用いた治療を開始した患者様を対象として、診療録のデータを用いて治療経過を調査します。得られた調査結果を今後の患者さんの治療に還元することを目的に本研究を行います。

研究期間：2011年1月1日～2025年11月30日

3. 研究に用いる情報の種類

以下の臨床情報を取得します。

診療録より、患者生年月日、性別、大腸癌の病期、組織型、遺伝子変異の有無、治療内容(手術内容・化学療法のレジメン)、治療の有害事象、治療後の効果判定、治療後の生存期間などを調べます。

4. 外部への情報提供

研究成果の学会、論文などにおける発表に際しては、調査させていただいた方々の個人情報が入院外に漏れることがないように、十分に配慮します。

5. 研究組織

長野市民病院 消化器外科

6. 問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。また、本研究の対象となる方またその代理人より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な処置を行いますので、その場合も下記へご連絡をお願いいたします。

尚、研究不参加を申し出られた場合でも、不利益をうけることはありません。ただし、お申し出をいただいた時点で既に研究結果が学会、論文などで公表されていた場合等には結果を破棄できない場合もあり、引き続き使わせていただくことがあります。

長野市民病院 消化器外科 関野 康

電話番号：026-295-1199